

平成26年度 再評価委員会

路線名：主要地方道 小城富士線
（上町横町工区）
事業名：道路整備交付金事業
（防災・安全交付金）
再評価実施後より5年経過のため再評価

1

主要地方道 小城富士線 位置図



2

事業目的

対向車線にはみ出る



線形が悪く
事故の恐れあり



歩道が無く
歩行者が危険

事故がH15～H24で15件発生

線形改良及び歩道整備

事故防止、歩行者の安全確保

3

事業概要

- 全体事業費：11.5億円
- 工期：平成12年度～平成27年度(予定)
- 全体延長：L=550m
- 事業内容：改良工 L=550m
 用地買収 4,366㎡
 家屋補償 36戸

事業の進捗状況

	平成25年度まで	平成26年度	平成27年度以降
事業費(億円)	10.3	0.7	0.5
進捗率(%)	89.7	95.6	100.0
用地進捗率(%)	96.0	99.0	100.0

4

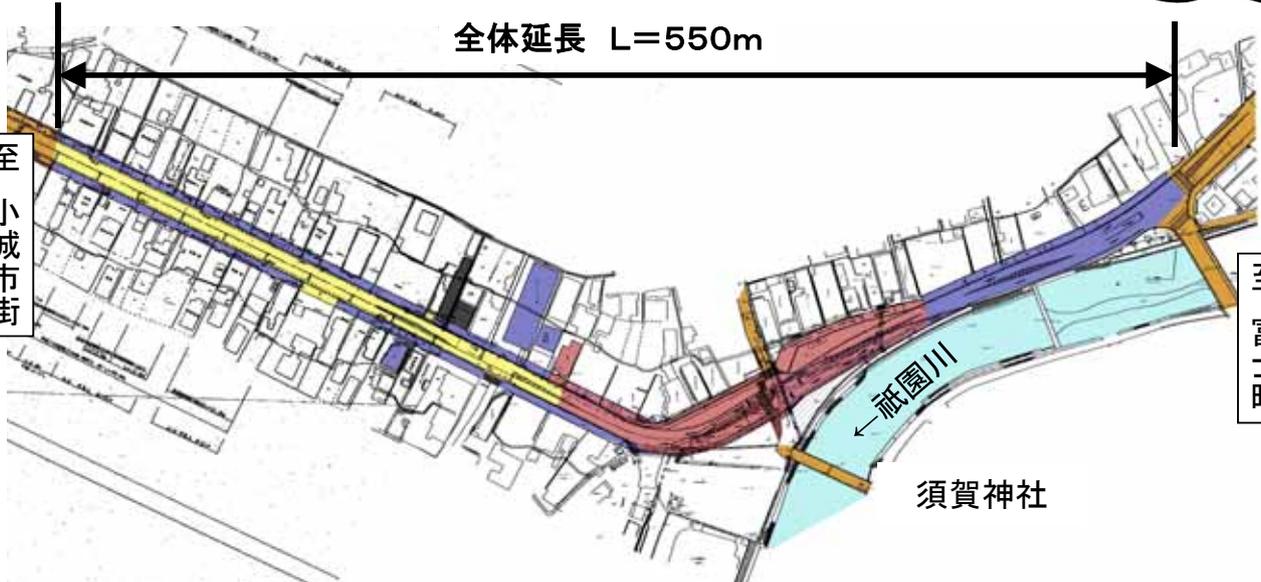
主要地方道 小城富士線 平面図



全体延長 L=550m

至
小
城
市
街

至
富
士
町



凡例	
青	平成25年度まで
赤	平成26年度施工箇所
黄	次年度施工箇所

平成26年 現地状況



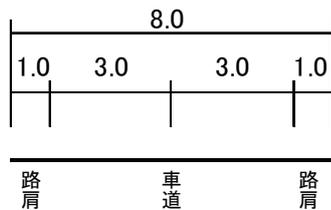
起点側から終点側を望む



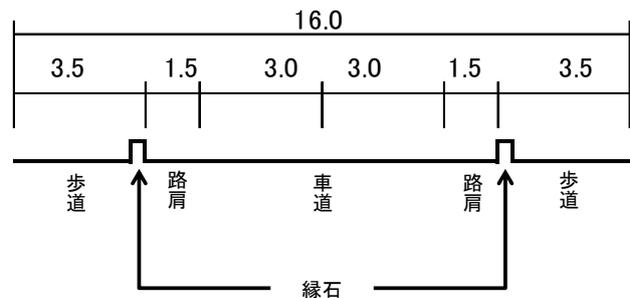
終点側から起点側を望む
(未改良区間)

主要地方道 小城富士線 横断図

現況



計画



事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 交通量の増加

平成9年度 1,343台／日

平成11年度 1,527台／日

平成17年度 1,017台／日

平成22年度 853台／日

- 小城PAスマートインターチェンジ(仮称)の供用(平成29年度供用予定)により、交通量の増加が見込まれる。

費用対効果の要因の変化

- 事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比(B/C)} = 24.0 / 14.5 = 1.7$$

- 【便益】

走行時間短縮便益	=	22.2億円
走行経費縮小便益	=	1.3億円
交通事故減少便益	=	0.5億円
合計		24.0億円

- 【費用】

事業費	=	14.0億円
維持管理費	=	0.5億円
合計		14.5億円

9

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし

対応方針(事業課案)

- 事業の必要性に変化が無い。
- 現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。